HP×NVIDIA「RTX Spark」徹底検証：ローカルAI PCの真実と企業導入の選択肢

128GBのユニファイドメモリを備えた「RTX Spark」搭載PCは、120B級オープンモデルのローカル高速実行を可能にする実力を持ちます。しかし、「クラウド不要」「GPT級使い放題」といったマーケティング表現には誇張が含まれており、企業は投資対効果を見極めた段階的な導入戦略を探る必要があります。

マーケティング主張 vs 技術的実態

マーケティングの主張

- Windows専用チップを新開発
- GPT級AIがPCで使い放題
- クラウド不要でサイバー防衛

技術的判定・事実

- DGX Spark（GB10）のハードウェア派生
- 2025年の中位モデル級（o4-mini相当）
- ローカル化で新リスク発生、ハイブリッドが前提



120Bモデルのローカル動作は事実
128GB機で65tok/s動作

「クラウド不要」は過剰表現
フロンティア併用が不可欠

投資回収（ROI）は3〜7年
メモリ高騰で更新期間を超過

企業における推奨活用・導入スタンス

128GB機での小規模実証から開始
1〜3台で業務効果を検証

未公開・極秘情報に特化して利用
機密データの漏洩リスクを回避

部門共用機やハイブリッド活用
共用機やクラウド連携を活用

Gemini Notebook